

9月1日

日本比較文化学会 関東支部・関西支部合同研究会のお知らせ

関東支部長 野口周一

関西支部長 北林利治

9月に入ったというのに、暑い日が続いておりますが、会員のみなさまにはお元気のことと存じます。下記の要領で、関東支部と関西支部の合同研究会を開催いたします。研究会後には、浜松駅近くで懇親会も開きますので、こちらの方もふるってご出席ください。

日時：2010年9月18日（土）午後1時30分～5時

会場：アクトシティ浜松 研修交流センター（JR浜松駅前）

<http://www.actcity.jp/sponcer/seminar/>

プログラム：

開会の辞 野口周一（日本比較文化学会関東支部長）

研究発表第1室（402号室）

①1:35～2:15

金想容（大阪大学大学院）

「現代台湾における日本ポピュラー文化受容の変遷—アニメ・マンガ・オタクイメージの考察を中心に—」

②2:15～2:55

長谷川詩織（筑波大学大学院、日本学術振興会特別研究員）

「人類学の展開から見るアメリカ映画—『極北のナヌーク』（ロバート・フラハティ、1922年）を中心に—」

③3:00～3:40

鄭智恵（明海大学大学院）

「有標会話交換にみられる中国語のポライトネス—台湾人中国語母語話者と日本人中国語学習者の比較を通して—」

④3:40～4:20

藤田昌志（三重大学）

「徳富蘇峰の日本論・中国論」

研究発表第2室（404号室）

①1:35～2:15

疋田知美（関西大学大学院）

「“Hills Like White Elephants”における構造」

②2:15～2:55

野口 司（神戸市外国語大学大学院）

「歴史・文化の文脈から見たフンデルトヴァッサーの建築作品—事例を交えて」

③3:00～3:40

北村雄二（高崎経済大学非常勤講師）

「フランクフルト哲学に基づいた学生のための英語スピーチ指導：スピーチをする意味について考える」

④3:40～4:20

高橋強（常葉学園大学）

「教員免許更新講習：外国語（英語）活動の展開と教材開発」

⑤4:20～5:00

堀口 誠信（徳島文理大学）

「社会人基礎力と学校の存在意義との関係について：平成生まれの日本人大学生が「学園ドラマ」を通じて見ている学校の姿」

懇親会：会場未定（JR 浜松駅周辺）

問い合わせ：

北林利治（関西支部長） [VZV00407@nifty.com](mailto:VZV00407@nifty.com)